

9月は基本的教育と識字率向上月間

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



インスピレーションになる



2018-2019年度 RI 会長 バリー・ランソン

**例会予定** 9月12日 外部卓話 地区国際奉仕委員 柴山博光様  
9月19日 会員卓話 瀬戸隆海会員

VOL.56 No. 9 (通算No. 2567)

2018年9月5日(水) 例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

ツウンバ交換学生帰国報告

外部卓話 財団グローバル補助金奨学生園田裕明様



2018-2019年度 会長 染谷秀雄 幹事 古矢 満

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3階

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3階

TEL 0297-30-0875

Fax 0297-30-0876

Email [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

例会報告 VOL.56 No. 8 (No.2566) 8月29日(水) 曇り (司会 鈴木茂徳副委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 水海道青年会議所 理事長 笹生安孝様

### ピジター

水海道青年会議所 理事長 笹生安孝様  
顧問 石塚 徹様

### 誕生祝



《会員》山中弘樹会員  
《ご夫人》山中会員



### 諸報告



2017-2018年度 決算報告 倉持功典前幹事  
別紙のとおり

ありがとうございました。

監査報告 熊谷 昇会員



2017-2018年度、水海道ロータリークラブの収支決算について、関係諸帳簿と証拠書類について監査した結果、すべて符合しており適正でありました事を報告致します。

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

### 幹事報告 古矢 満幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

- ・ツウンバ交換学生の前島さんご兄弟、無事に帰国しました。
- ・グランドゴルフ大会常総地区、9月13日(木)9時受付、きぬふれあい公園で開催されます。  
お時間のある方はご参加お願い致します。

### 会長挨拶 染谷秀雄会長



8月26日、水戸プラザホテルにて2820地区内の第一回会長幹事会が開催されましたので、出席してきました。

当日の内容としましては、各委員会の総括委員長、そして、各分区のガバナー補佐からの現況報告が発表されました。その中で、クラブ奉仕委員会の発表では、会員増強のお話があり、地区内の会員数は保延年度の期末が1943名、高橋年度の7月末では1957名の会員数で、14名増加していますが、保延年度での入会者は170名に対し、退会者は178名と退会者のほうが多く、また、傾向として新入会員の退会が多いそうです。今年度の現状は、日立港RCの7名増強が一番多いが、地区全体の会員の増強は14名に留まっていること、また、女性会員の比率が7%で、更に女性会員を増やしていきたいとのことでした。そして、会員数10名未満のクラブが2クラブ増えて4クラブ、19名未満が10クラブと、会員増強を今まで以上に組み込まなければならない状況であると共に、退会防止についても取り組んでほしいとのことでした。次に、奉仕プロジェクト総括委員長の発表では、各クラブにアンケート調査の依頼をしたが、アンケートの回収は約半数のみでアンケートを提出されていないクラブの奉仕活動に対する取り組みに疑問を感じるのお話で、地区委員会では奉仕プロジェクトの活動が把握されていないのが現状のようですが、回収結果としては、国際奉仕の事業は継続事業が、職業奉仕では、例会として職場訪問が多いため、新たな事業を考えてほしいという要望もありました。また、社会奉仕については地域社会が本当に必要としている事業なのか検証し、そして、これらの事業をどのように地域にアピールして、公共イメージを上げていくのかクラブで検討していただきたいとのことでした。次に青少年奉仕の発表がありましたが、内容としてインターアクト、ローターアクトの件で、特にインターアクトの提唱クラブが5クラブしかなく、もっと多くのクラブに提唱していただきたいが、問い合わせがあっても、予算的な問題などで提唱できないというクラブもあるそうですが、単独で提唱できなければ、他のクラブと合同での提唱、あるいは分区での提唱でも可能であるとのこと、クラブで検討していただきたいとのことでした。つづいてライラセミナーについて、今年10月7日、8日の2日間、大洗にて開催されますが、現状参加者の応募が少なく、各クラブで参加者の募集を再度お願いしたいとのことでした。休憩を挟んで財団、米山奨学会の発表がありましたが、米山については理解あるクラブも多く、寄付額についても一人当たり24500円と他の地区と比べても多いそうです。財団については地区内のクラブで、マイローターに寄付額の目標値を入力していないクラブは目標値がゼロとなってしまう、また、全国のロータリアンはマイローターの閲覧が可能で、未入力だと目標値がゼロだということを公表することになるので、今からでも入力するようにとのことでした。

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

**外部卓話** 自己紹介・現在の水海道青年会議所について 水海道青年会議所 理事長 笹生安孝様



### 自己紹介

日頃より、水海道ロータリークラブ様に於かれましては我々水海道青年会議所の活動において多大なるご理解・ご協力を頂いていることをこの場をお借りして御礼申し上げます。そして、私たち水海道青年会議所第12代理事長の染谷秀雄先輩、7月より水海道ロータリークラブ会長就任おめでとうございます。本日、このような席でお話しをさせて頂く機会を務めた石塚徹君が卓話で話す時に初めてこの場に同席させて頂いたのをつい先日の様に思い出しました。その時、当時会長の海老原さんとは仕事でお付き合いがあったこともあり、今も変わらず会った時には頑張ってくださいと声をかけて頂き本当に感謝しております。実は前年の青葉君が理事長の時にも同席させて頂きました。その節はありがとうございました。遅くなりましたが、本年、水海道青年会議所第38代理事長の席をお預かりしております、笹生安孝と申します。よろしくお願い致します。わたくしは現在、常総市大生郷にて(株)浅丘工業を2代目として経営しております。業種は建設業を主としており、市内の道路やインフラ整備を行っており、仕事を通じて地域社会への貢献をさせて頂いております。私は水海道で生まれ、前会長の石塚さんが経営していらっしゃるきぬ幼稚園を卒園し、地元の小中学校を特に優秀でもなく卒業、東京の専門学校へ2年間鹿児島専門課程の大学で土木について2年間学び、つくば市とつくばみらい市の建設会社で仕事を覚え、25歳で結婚を機に実家であり浅丘工業へ入社致しました。家族構成は現在、妻1人現在中学1年と小学4年の娘2人、私の母の5人で暮らしております。30歳を過ぎた頃、法人会青年部へ入会させて頂き、様々な異業種の経営者さんたちとお話しをさせて頂きながら、水海道青年会議所入会への勧誘を、同業でもある大堀先輩や古矢先輩などたくさんの方々に声をかけて頂きました。そして2014年、水海道青年会議所に入会しこの4年間、仲間にも友達にもそして先輩にも恵まれて今、ここに立たせて頂いていると思っております。私は現在40歳となり、来年は直前理事長という職を預かりますのでボーナスイヤーとなります。

### 現在の水海道青年会議所について

本年2018年度は1月1日より私の掲げるスローガン「尊尚親愛～地域を愛し笑顔をあてられる存在となろう～」をテーマに活動を開始致しました。意味は尊敬して親しみをもって愛すること、会員一人一人が互いに尊敬し合い、この水海道のすべてに親しみを持ってほしいとの思いで1年間活動を邁進している最中でございます。水海道青年会議所は創立後38年を迎え、2年後には40周年を迎えます。そんな中、16名でスタートし、現在の会員数が19名。しかし、今年の卒業生3名、2019年度には7名が卒業し、単純にこのままだと9名で40周年を迎えることとなります。まず私が取り組んだのは理事会での正装です。役員を3年務めた中で色々ありましたが、一番思ったのは会議が長い事でした。実りある会議であれば時間もあっという間に過ぎ、時計をみて驚くこともありましたが、話が脱線することも多々あり、どう進めれば会議を円滑に進め、深い議論が出来るのかを考えた時に、理事会ではスーツを着て行うでした。現在8回の理事会を行いました。7時30分に開会し、平均すると10時半頃には終わるようになりました。これは役員の方々の姿勢にも反映されており、良い結果となっております。

今年着手したのが、名称変更についてでした。常総市が合併して12年。合併についても色々あり、また、常総市となったことについても様々な意見がある中でも我々青年会議所は常総市で活動をしていく拠点であることから、常総青年会議所と2019年1月1日より名称を変更致します。この活動は実は3年前から水面下で動いておりました。この名称変更については日本青年会議所の把捉審査会議がその判断を行っておりますが、以前に旧取手青年会議所が一時、常総青年会議所の名称を使用していた為、混乱を招く恐れがある事を理由に却下されてきたのだと思います。今年の日本青年会議所本会での判断で常総青年会議所の名称を使用できることとなりました。ここに落ち着くまで、何度も会議の場を作り、平仮名の「じょうそう」

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

にするしかないのか「常総みらい青年会議所」はどうかとか様々な意見を出した中、第一候補の「常総青年会議所」となることが出来ました。来月9月には、日本青年会議所から現地調査が入り、11月の日本青年会議所理事会にて承認となれば晴れて1月1日より「常総青年会議所」と変わると同時に第39代常総青年会議所理事長へとバトンを渡すこととなります。まず、この水海道青年会議所という名称についての器を変える事が1つ目。2つ目に会員拡大の意識を高める事です。今日同席している石塚顧問は3年前の理事長だった時に100%拡大を行いました。当時12人だった水海道青年会議所が1年間で24人にまで増えました。これは、当時の理事長として動き入会へと導いたことが非常に大きいと思うし、凄いことだと今でも思っています。この力を現在の会員19名で一致団結して会員拡大をするんだという思いをもう一度奮い立たせて会員全員で行うことが出来るよう現在も行っております。まだまだ種をまいている状況ですが、年末から来年にかけて先を見据えながら努力していきます。また、11月には岡山県倉敷市へと多くの会員でボランティアへ行くことに致しました。3年前の関東東北豪雨災害では、日本全国から各地青年会議所の方々に人的・物的支援を頂きました。現在、様々な災害が多発している中ではありますが、当時の水海道青年会議所と同じように頑張っているのでもお礼を兼ねながら、お手伝いをしてこようと思います。また、先日の花火大会の時から集め始めた募金を倉敷市にある玉島青年会議所へとお見舞いとして届ける方向で調整しております。玉島青年会議所は倉敷市にありますが、会員17名と我々と同じ規模で活動を行っておりますが、理事長はボランティアセンターに詰めており、やはり当時の水海道と同じ活動をしていると聞いております。3年前の当時、水海道青年会議所も会員が被災したり、物品が泥水に浸かり使えなくなったりと非常に苦勞を致しました。人数が少ないと予算も少ないので少しずつ買いそろえるのに2年かかりました。そんな苦勞を知っているからこそ、お見舞いという形で渡して来る計画をしています。

### 結びに

青年会議所活動は40歳までの人生のなかで貴重な時期でもあります。仕事も重要な立ち位置となり責任が増え、周りの期待も高くなります。また家庭では、結婚や子育ての真っ最中で何かと忙しい時期でもあります。しかしながら、人生の今後を左右する貴重な時期だからこそ、何事にも失敗を恐れずチャレンジし、青年会議所活動を通してできた絆を大事にしたいと思えます。

甚だ簡単ではございますが、ご清聴ありがとうございました

### 出席報告 雨谷道夫委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
53名	36名	17名	0名	4名	75.47%

**ニコニコボックス** 前島 聡委員長 入金額 36,000円 累計 457,000円

誕生祝御礼《会員・ご夫人》山中会員

笹生理事長、本日よろしくお祈いします。 染谷(秀)会員

笹生理事長、本日は宜しく! 古矢会員

笹生理事長宜しくお祈い致します。 青木(清)会員

笹生理事長、ご入会おめでとうございします。間違えました。卓話よろしくお祈い致します。 倉持会員

笹生君、卓話宜しくお祈いします。 熊谷会員

笹生理事長本日卓話楽しみにしています。石塚 徹さん、先週の週報に写真が載っていましたネ!!

石塚(克)会員

笹生さん卓話楽しみにしています。 齋藤(政)会員

笹生理事長、卓話楽しみにしています。そして笹生理事長、石塚君のご入会をお待ちしています。前島会員

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

やっと出席表に〇がつけました。 染谷(正)会員

名札忘れです。 田上会員

少しずつ頑張っていきます。 淀名和会員

新会員のお二人宜しくお願いします。 軽部会員

早退します。 大串会員

例会欠席しました。 斎藤(広)・石塚(利)・山牟田・大堀 各会員

会報委員会 石塚利明委員長 内村尚史副委員長 軽部良一委員

